

使っている花 ■ チューリップ(ノースキャップ)、バラ(ラビスヴェール)、グニーユーカリ、アカシアブルーブッシュ、ビバーナムティナスベリー

2月
February



チューリップ

花言葉 思いやり／博愛

春を待つ季節のチューリップ
スモーキーな色合いとあわせて

プロが伝授! 花を長く楽しむアドバイス

- 花首が伸びすぎているしっかりしたもの、葉が元気なものを選びましょう。
- バクテリアの影響を受けにくく、水替えの頻度は少なくで大丈夫! 手間いらずです。
- 部屋の温度が高いと花が開きやすいので、涼しい場所に飾ってください。

お家で簡単! 3ステップアレンジ

- ① 八重咲きの花顔を生かしてBOXアレンジメントを作ります。BOXの蓋は底面に重ね底を補強します。BOXの内側にセロファンなどを敷き、水が染み出さないようにします。BOXの高さの半分くらいの高さにカットした吸水性スポンジをセットします(水を含ませた状態で)。
- ② 中心に、短くカットした八重咲きチューリップとバラを挿します。まわりに小分けにカットしたグニーユーカリ、アカシアブルーブッシュをあしらひ、スモーキーなグリーンで囲みます。
- ③ 最後に、ビバーナムティナスベリーの実をアクセントに加えて出来上がり!

ひと足早く春を楽しんで

モスクや宮殿のタイルに描かれた優美なチューリップは、16世紀に原産国トルコからオランダに伝わり、その球根が「チューリップバブル」を引き起こしました。人々を熱狂させたのは個性的な模様や咲き方の花。今はそんな変わり咲きの品種を気軽に楽しめます。花は開いたり閉じたりを繰り返す性質があり、夜は眠るように閉じます。

